

議会運営委員会

令和5年6月28日（水曜日）午前11時30分開会

出席委員（8名）

委員長 中里康寛
委員 森本彰伸
委員 星宏子
委員 相馬剛

副委員長 鈴木伸彦
委員 益子丈弘
委員 平山武
委員 中村芳隆

欠席委員（なし）

オブザーバー（2名）

議長 山形紀弘

副議長 眞壁俊郎

説明のための出席者（なし）

出席議会事務局職員

事務局長 高久修
議事課長補佐
兼庶務係長 小高久美
主査
（係長級） 室井理恵

議事課長 相馬和男
議事調査係長 長岡栄治

議事日程

1. 開会
2. 挨拶
 - ・委員長
3. 協議事項
 - (1)取組実行計画について
 - (2)大型ディスプレイの運用について
 - (3)牛柄ハッピーの着用について
 - (4)その他
4. 閉会

開会 午前11時30分

◎開会の宣告

○中里委員長 それでは、これより議会運営委員会を開会したいと思います。



◎委員長挨拶

○中里委員長 本日、議会運営委員会のほう、午後4時からかな、予定していたんですけども、急遽すみません、議題が少ないということで午前中に予定を変更させていただきました。

議事進行のほうしっかりやっていきたいと思えますので、皆様も御協力お願いしたいと思います。



◎協議事項

○中里委員長 それでは、3の協議事項に入りたいと思います。

(1)取組実行計画についてを、まず最初の議題といたします。

まず最初に、事務局のほうから資料の説明をお願いいたします。

係長。

○長岡議事調査係長 それでは、こちら資料のほう配信させていただきます。

取組実行計画についてということで、こちらもう現在、令和5年の3月に発議第4号ということで議決をいただいております。議会としましては、活動の羅針盤ということで定めるところでございます。

内容につきましては、こちらの取組実行計画、全部で小項目合わせまして20でございます。

すみません、また資料のほうちょっとお戻りさせていただきますまして、今回議会運営委員会、委員の皆様も変わられたというところで、じゃ、どういうふうに運営していこうか、先日委員長はじめちょっと御相談させていただいた中で、やはりこの内容というものをまずちょっと確認、新しい委員になられた方も多いので、内容の確認が必要だよね、そして、またこの内容を確認するとともに、やはり優先順位、そういったものもつけて取り組んでいったほうがいいんじゃないかというふうな御提案をいただいたところでございます。

その検討、優先順位、内容の確認、そういったものの方向性ということで、こちら4番になります。

検討の方向性ということで、さきの5月の臨時会議の中で山形議員、議長当選のときに議会全体で取り組めるものに見直していきたい、そういったお言葉のほうもいただいておりますので、議運といたしましては、議会全体で取り組めるもの、そういったものを基準に優先順位をつけていきましょうと、そういったお話し合いとなりました。

今回のこの取組実行計画については、一番最後の今後の検討ということで、全議員、少数意見も含めた形でアンケートを実施して優先順位を決めてはどうかといった御提案となります。

アンケートを今後取りたいというふうなお話とその方向性ということで、こちら正副の方からですね、委員長のほうからちょっと御提案いただいた内容を取りまとめた、今年度こちらが一覧にした内容、取組実行計画の一覧になります。

ちょっとこちらの内容について委員長のほうからお話しいただいてもよろしいでしょうか。

○中里委員長 先ほど長岡係長のほうから説明があったように、昨年度までたくさんの事業をやってきたというところなんですけれども、課題として

ございましたのが、事業が多くてここの事業を消化し切れていないという現状がございました。また、いわゆる、議会改革というものは議会全体で取り組んでいくんですが、それがなかなか浸透し切れていないというところも課題としてあったように思います。

そういった中で、山形議長からのお話があったように、議会全体として取り組めるよう見直しや改善を図りたいというお考えがございます。そういったものを考えまして、私と鈴木副委員長のほうで優先順位、優先順位とまではいきませんが、その議会全体として取り組めるものと、そうではないものというところで、この表に表したようにちょっと色分けをさせていただきました。

白いほう、こちらが議会全体として取り組めるのではないかということで、色を白のままにさせていただいて、この灰色の部分については、議会全体として取り組むのではなくて、もうちょっとその優先順位としては後にしてもよろしいんじゃないかというようなことでちょっと検討させていただきました。

今後なんですけれども、皆様にこの、私と副委員長の考え方を含めていただきながら、アンケートを取っていただきたいというふうに思います。ですので、よろしくお願ひしたいというふうに思うんですけれども、今この時点で皆さんから何か御意見はございますか。

森本委員、どうぞ。

○森本委員 これ議会全体で取り組むべきものとそうじゃないものと10個くらい書いてあるんですけども、その基準がちょっとよくいまいち分からない。

○中里委員長 例えば、1の市民アンケートの実施というところですが、アンケートをやるに当たっても、まずその現状として何のためにアンケート

をやるのか、そのアンケートの成果というものもしっかり求めていかなければならないと思うんです。

今までのアンケートのやり方は、議員さんに頼んでそれぞれの支援者であったり、あるいは本庁、西那須野支所や塩原支所などで、いわゆる手配りしながら集めてきたという経緯がございます。そういったそのやり方も含めて、検討も必要なのかなというところ。

議会改革がその市民の福祉向上にどのように成果として表れるのかということまでしっかり考えてアンケートをしないと、ただアンケートをやっただけというところになってしまうんじゃないかというふうな考え方ですね。

例えばこのアンケートだけです、アンケートの話ですよ。

○森本委員 アンケートだけにして言った場合に、それは、担当者、アンケートを取る人が一部のからだ全体じゃないという意味ですか。ちょっと意味がよく分からない。

何でこれが議会全体じゃなくて、ないのかというのが、どういう基準で決めたのがちょっと分からないというだけ。これやるやらない、やったほうがいいよと言っているわけじゃないですからね。ただそれぞれの基準が分からないということです。

〔「全体かどうか……」と言う人あり〕

○森本委員 そう、全体で、これお話によると、議長からの議員全員でやるべきものを優先順位高めましょうという話の中で、どの取組をしていくのかと決めた場合に、それぞれがどういう理由で、それが議会全体じゃなくて、どういう理由で、それが議会全体なのかというのがちょっと見えてこないなというふうな感じを受けました。これ見て。

○中里委員長 長岡係長。

○長岡議事調査係長 もちろん、その議会全体というのの捉え方というのが、議員皆様それぞれ違うというのも前提としてはやっぱりおありだと思うんです。ただ、やみくもに優先順位をじゃ、まず決めようというのがまず大本にあるんですけども、それを決めるに当たって何かやっぱり指標ってないとなかなか皆さんも決められない、個人にとってのその優先順位というものになってしまうんじゃないかなと。

そういったときに、委員会全体でという、ちょっと漠然としたものにはなってしまうんですけども、そういった大きなテーマを掲げて、その中で全議員の皆さんから優先順位をつけていただいて、その結果でまだ議運としても取り組めたらなというふうには。あくまでその議会全体でというのが確立した内容のものではないんですけども、みんなで向かうべき方向として一応掲げさせていただいたというふうなそんなイメージになります。

○中里委員長 森本委員。

○森本委員 だから、最初聞いたときに、アンケート取ってと言ったから、みんなが賛同するものを選ぶというんだったら議会全体何となく分かる気がするんだけど、これを見ると正副でも大体どれをどうというのは、ある程度その見当つけましたということになってきて、それでアンケートとなってくると、じゃ議会全体という意味ってどこにあったのかなというのは感じがしたんですよ。

議会全体でやるというその定義が、議員からのアンケートで決めるというのであれば、多分ここで白とグレーに分ける必要はなかったのかなという気は、そのアンケートによって下位のをグレーにしましたというのなら基準があるじゃないですか、何か。ただ、これ正副でこれが議会全体、議会全体じゃないというふうには大体決めたと言うんだけれども、この内容を見ると、特にどこが議

会全体じゃなくてどこが議会全体なのかがちょっと見えてこないかなという気がしました。

○中里委員長 この灰色の部分については、この取り組むことの内容が分からない方がほとんどかなというのが私が思っている実感、あと鈴木副委員長もなんですけれども。

〔「分からない、じゃ、ぜひみんなで共通の認識を持つようにしましょうとかという、それだったら分かるんですけども」と言う人あり〕

○中里委員長 なので、まずは全員で分かりやすく取り組めるものからやりませんかというお話なんですよ。

〔「簡単なものからやっていきましょうという話」と言う人あり〕

○中里委員長 はい。で、そこに、要は一斉のどんでやるというよりかは、実際に昨年までも事業が消化し切れていないというのがあるんですよ。そういう現状を踏まえると、事業が消化し切れないのを分かっている、分かりづらいものまで全て事業をやり切るというのはどうなのかなという。なので、ある程度正副の間で仕分はさせていただいたということがあるんです。ただ、アンケートからこれを省くわけじゃないんですよ。

副委員長。

○鈴木副委員長 若干人が違うんでちょっと考え方が違うんじゃないと言われるのは本当はよくないんですけども、あえて言います。

森本議員がおっしゃるとおりで、これは議長が全体と言ったことをここで取り上げているんですけども、もう一回、要するに全体でできるもので見直したらどうかという、その多いんじゃないかとか成果があるかどうかということについてもう一回見直してみようかなというふうには受け取ったんですよ。ただ、何もなくて皆さんにお示しする

のは何なので、一応こういった形で多少仕分はしてみたいんですけども。

今日のこの会議の目的は、皆さんでもう一度、前回ね、3月で議決したものの項目をもう一度原点に戻って見直していただいて、限られた1年間の時間の中で、会議のこういった中で、全部ができるかどうか分からないので、取りあえず優先順位をつけてやりたいんだけど皆さんどうですかと、ここ全員でもう一度諮りたいという趣旨で今日はこの会議になっているので。

森本議員がおっしゃるのは確かにそうところある。だけど、言っているのは、あまりにもちょっと多過ぎるんじゃないか、だから全員でできそうという議長の提案だったので、それを勘案してそしゃくしてこう考えてみて、じゃ成果のあるもの、市民にとっていいものはどういうものか、できそうなものできないもの、もう一回これを改めてですけども、皆さんに投げかけて確認したい。そういう趣旨なので、ちょっとぶれているように思えるかもしれないけれども、基本的にはそういう意味合いで皆さんでもう一度検討しよう、だから改めて会派なり戻ってもらって、この中で優先順位、ここに関しては全員でとにかくもう一度、原点に戻って本当に取り組むべきだと。ただ、もう3月で議決されているものを数か月しかたっていないので、これを否決したりというのはちょっといかなものかな、なので、もう一度皆さんの総意をここで諮りたい、そういう趣旨ですので、多少ずれているかもしれないので、そこは御理解ください。

○中里委員長 森本委員、どうぞ。

○森本委員 そうすると、例えばこれ全体を見てグレーだから外すとかそうじゃなくて、会派としてその議長の言ったその趣旨に沿ったものというのはどれかなというのを各会派で検討してきてくだ

さいねという趣旨ということによろしいですか。

〔「これはどうしてもやりたいとかね」と言う人あり〕

○中里委員長 そのほかございますか。

平山委員。

○平山委員 逆にいいんじゃないですか、これグレーになったから決めたとかそういうことになるから、おかしくなるんで、ここで議論するんですから、今言ったように会派に持ち帰って、意見を出して、全体意見で、議長の意向は意向としてね、あまりこう並べていてもいいわけじゃないんで、無駄なやつもある、無駄なやつということは全部ないと思うんですけども、やっぱりその辺もよく検証しないと、これだけに追われて、ほかにやることいっぱい議員あるのに、これだけに追われちゃってさ、何だかそれも十二分にできていないのというのもあって、その辺を検証するという意味でしょうから、それちょっと整理しながら、1か月に1人連れてきてもいいです。これ年数かかることだものね、1年で全部仕上げるといことじゃないんでしょうから、その辺をやっぱり各派でやったらいいんじゃないでしょうか。

○中里委員長 星委員、どうぞ。

○星委員 アンケートをこう取りますよね、その中で、アンケートは議員全員にアンケートを取ることによってよかったんですか。会派で、議員全員で。

○中里委員長 事務局。

○長岡議事調査係長 先ほどのちょっと資料のほうにも一番最後書かせていただいたんですけども、1人会派の皆さんにも意見をいただきたいということで、全議員を対象にアンケートは取らせていただきたいと。

ちょっとアンケートのイメージなんですけれども、優先順位の高いものから例えば1番、2番、

3番つけていただきまして、最終的に集計します。その中で、数の1番少ないものというのが、優先順位に掲げている、優先順位として高く掲げている人が多いというふうに判断できるのかなど。

例えば、アンケートに1番とつけた人が26名いたよとしたら合計は26になるわけです。そこからこう優先順位が下がったものだともっと数が多くなるはずですよ。

〔「足し算というかね」と言う人あり〕

○星委員 点数制で、だから要はその取組実行の中で、例えば1番が1位になったものが1、そこに何人いたかでポイント制にして優先順位を決めていくという。

○中里委員長 事務局。

○長岡議事調査係長 全議員さんからアンケートを取ったその点数を合計して一番少ない数というのが優先順位の高いものというふうなアンケートが取れたらいいのかなというふうには。

○星委員 優先順位だからね。

〔「そうすると議員の皆さんの意向が分かるでしょう」と言う人あり〕

○星委員 じゃ、さっき会派という話があったんですけれども、26人全員ということは、会派は抜きにして個人の考えで出してくださいねという考え方でいいということでもいいんでしょうか。

○中里委員長 まずは。全員で、議会全体として取り組む、議会運営としているのは、ていしなしますけれども、コロナ系等についてはこういうこと、令和5年度取り組んでいきますよということも周知する意味も含めて全議員からアンケートを取りたいというのが私の考えです。会派だけに送るとやはりそれもまた浸透しないという部分も出てしまう等ありますので、取り組む事項はこれだけありますよということを全議員さんに周知をしたいという思いもありまして、まず最初は全議員

さんからアンケートを取りたいというのが私の考えです。

○星委員 はい、分かりました。

26人全員で取ってみんながそれぞれ、例えば優先したいものがばらばらになっちゃって、集計が例えば同数が多かった場合とかというのはまた議運の中でもんでいくということでもいいんですか。

○中里委員長 事務局。

○長岡議事調査係長 あくまで結果は結果としてお知らせさせていただいて、どういうふうに優先順位やりますかというのはまたこちらの話し合い方。

○中里委員長 そのほか御意見ございますか。

〔発言する人なし〕

○中里委員長 なければ(1)については閉じたいと思えますがよろしいですか。

〔「はい」と言う人あり〕

○中里委員長 では、続きまして協議事項(2)のほうに移ります。

大型ディスプレイの運用について、こちらも最初に係長から説明をお願いいたします。

係長。

○長岡議事調査係長 それでは、こちら資料大型ディスプレイの運用についてということで資料のほうさせていただきました。

今般、大型ディスプレイ、一番上、65インチの大型ディスプレイのほう購入しました。電子黒板とは違って書き込みはちょっとできないんですが、あくまで、パソコンとかタブレットとかの画像を映し出す、それを大きな画面でみんなで共有してそれを見ながら議論するというふうな内容になります。65インチとあとはディスプレイスタンドのセットとなっております。

2番目の議場の掲示の定めということで、何かこれに関わる定めってあるかなと見たときなんですけれども、一般質問、会派代表質問においての

掲示物、前日5時までといったもので規定があるものです。なので、使い方ですとか、どういうシーンでといった決まりというのは現状何もないといったところでございます。

そこでということで、3番目の論点になりますけれども、この大型ディスプレイ、本会議だけではなくて委員会ですとか、あとは研修、幅広い活用が見込まれております。ですので、このディスプレイの活用やあとは運用方法、また質問なんかで、一般質問等の資料提示で使う場合も含めて、どういうふうに使っていったらいいか、そういったものの検討は必要ではないかと考えてございます。

4番目の議論の場ということで、こちらはちょっと提案になるんですけども、今回、今皆さん見ていただいているこのタブレットも実は更新の時期を迎えております。そして、活性化検討特別委員会のほうで更新のほうの検討をさせていただいております。デジタル関連ということで併せて議会活性化特別委員会のほうに諮問をいたしまして、検討をいただき、それを議員のほうに上げていただくと、そういった流れではどうかといった提案となります。

以上、説明となります。

○中里委員長 説明ありがとうございます。

皆さんから今の時点で御意見ございますか。

〔発言する人なし〕

○中里委員長 この大型ディスプレイの運用ということで、いろいろやっぱり使い方というものをしっかり、運用を決めていかなければならないなというふうに思います。

例えば、一番懸念されるのが、会議録のところであります。例えば大型ディスプレイを指さしてこれこれ、これこれ見えます、これ、と言っても、会議録を読んだ人って分からなくなってしまうの

で、そういうその大型ディスプレイの使い方、そういうところもしっかり考えていかないと、何でも使えるから、映るから便利なんですけれども、会議録、しっかり言論の場の会議録というところで決めていかなければ、やっぱり市民も分かりづらいことになってしまうのかなというふうに思います。

そういった中で、議会活性化特別委員会のほうに諮問をしたいなというふうに考えております。

こちらについても、何もない(2)も閉じてよろしいでしょうか。

〔「はい」と言う人あり〕

○中里委員長 では、続きまして、協議事項の(3)牛柄ハッピーの着用についてを議題といたします。

それでは、こちら事務局長から説明をお願いします。

係長。

○長岡議事調査係長 それでは、こちらの資料、議場における牛柄ハッピー着用の検討についてということで、まず、タイトルはこうなんですけれども、まずは一番趣旨としましては、那須塩原市の牛乳の日というのを9月2日に定めております。一応日本記念日協会が認定する記念日というふうになっているそうです。

実は、ちょっとこちらにつきましては、議長のほうから提案をいただきまして、本会議でそういったアピール等も議会できないかといったことから、はっぴの着用をしてアピールする、そういった方法も一つじゃないかというふうな御提案をいただきまして検討を始めたものになります。

また、併せまして、実は執行部のほうも議場でやはり一緒に牛乳のPRをしたいというふうな意向もありまして、併せての御提案となります。

ただ、あくまでもこれは議会側としてはっぴのほうの着用を検討する、そういった趣旨になりま

す。

真ん中の、他市の議場におけるはっぴ等の着用例ということで、見ていただきますと、阪神タイガースのはっぴ、あとは七夕祭りをPRするためにはっぴを着るとか、あとはアロハシャツですね、そういったものを着て議会をやっている、そういったところも現在ございます。

次の4番の、あくまでもし導入したら、導入の決定をこちらの議運のほうでお願いしまして決定できれば、一番最後のスケジュールということで、少なくとも8月17日の全協、そこから辺までで意思統一ができれば着用のほうに進めるのかなと考えてございます。

その1つ上、ごめんなさい、運用例ということで、あくまでこれは別途お話し合いの中で、こんなふうだったらできるのかなと。

一応、参考例ということで掲載させていただきましたけれども、9月2日が実は土曜日になります。お休みということで、同日ではないんですけども、前日の9月1日、9月議会初日におきまして牛柄のはっぴを皆さんで上から羽織って、議会の1日を終わると。

そこについては、例えばですけれども、新聞記者とかそういったものも情報提供してPRをしていくというふうな方法が取れるのではないかとというふうな、今回は今後議運でやるための頭出しということでの説明となります。

以上となります。

○中里委員長 説明ありがとうございます。

はっぴの着用についてということで、これから皆さん、今日は頭出しということでこれから検討に入っていきたいと思います。

例えば初日で全部日程をやるまで着用しているのかとか、最初だけ着用するのかとか、そういった御意見等もあると思いますので、今日は頭出し

というところで、今後皆さんから御意見いただきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

取りあえず、(3)については閉じたいと思います。がよろしいですか。

〔「はい」と言う人あり〕

○中里委員長 それでは、続きまして、協議事項の(4)その他に入ります。

その他、委員の皆さんから何か協議事項のその他でお持ちの方いらっしゃいますか。

〔発言する人なし〕

○中里委員長 なければ、事務局からございますか。

はい、事務局。

○長岡議事調査係長 一応、アンケート、今後先ほど議運のほうで優先順位を取組実行計画についてのアンケートを取りましょうというふうなお話し合いの流れかと思ひます。

ですので、今後アンケートのフォーマットができ次第、またサイボウズ等でアンケートのほう行わせていただければと考えてございます。

視察のほうお願ひします。

○中里委員長 分かりました。

アンケートですね、これからちょっと皆さんに幾つかアンケートお答えいただきたいというふうにしております。

まず、議運で開催する研修について、こちらについてもアンケートを実施したいというふうに思ひます。こちらのほうも終わり次第、議員の皆さんに事務局からサイボウズでお送りしたいというふうに思ひますので、アンケートのほうよろしくお願ひしたいと思ひます。

あともう一点、本年度行政視察を10月から11月で実施を予定したいというふうに思ひしております。それにつきまして、視察したいテーマをアンケートをしたいというふうに思ひますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。こちらのほう、取組実

行計画の内容に沿ったテーマとしていただきたい
と思いますので、そちらのほう、回答のほうお願
いいたします。

私からは以上ですが、次回の開催について事務
局から。

○長岡議事調査係長 すみません、次回の議運の開
催日の御相談なんですけれども、7月13日、この
日夕方から執行部の懇親会のほう御予定あるかと
思うんですけれども、その前なんですけれども、
午後2時から7月13日木曜日の午後2時からで議
運のほう開催させていただければと考えておりま
す。

内容につきましては、先ほどのはっぴのほうの
御意見ですとか、あとはアンケートのほうがもし
まとまればそういったものもまた御意見いただ
ければと考えております。

以上です。

○中里委員長 ありがとうございます。

あと加えて、会派代表質問の検討もちょっとし
ていかなければならないということで、今までは
4会派だったんですけれども5会派になったとい
うことで、開催時間を遅らせる、前倒しにしてや
るのかということも検討していかなきゃなら
ないかなというふうに思っておりますので、よろしく
お願いいたします。

—————◇—————

◎閉会の宣告

○中里委員長 それでは、協議事項は以上となりま
す。議会運営委員会のほうをこれで閉会したいと
思います。

お疲れさまでした。

閉会 午後 零時